



Piano Recital
KYOKO TABBE

田部京子 ピアノ・リサイタル

—SHINKA—
＜進化×深化×新化＞
Vol.6

2026
12.6 日 14:00開演
(13:30開場)

● 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

全席指定(税込): 5,300円

一般発売

2026年
7月25日(土)
10:00~

プレイガイド

■ 朝日ホール・チケットセンター
03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)



朝日ホール・チケットセンター 検索

■ MIYAZAWA & Co. MIYAZAWA&Co. チケット 検索

- チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com/>
- イープラス <https://eplus.jp>

主催: 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/MIYAZAWA & Co.

お問合せ: サンライズプロモーション 0570-00-3337

(平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約) 0120-788-222 ※都合により公演内容が変更となる場合がございます。

朝日ホール会員先行発売

Web会員先行 朝日ホール・チケットセンター 検索 ※「会員登録」ボタンからご登録ください。

2026年6月27日[土] 10:00~7月22日[水] 18:00

電話先行 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

(日・祝・年末年始を除く10:00~18:00)

2026年7月11日[土] 10:00~7月22日[水] 18:00

MIYAZAWA & Co. 先行発売

2026年6月27日[土] 10:00~7月22日[水] 23:59

MIYAZAWA&Co. チケット 検索 ※「会員登録」ボタンからご登録ください。



ショパン: プレリュード 嬰八短調 op.45

Chopin : Prélude cis-moll op.45

ノクターン第13番 八短調 op.48-1

Nocturne No.13 c-moll op.48-1

ノクターン第14番 嬰へ短調 op.48-2

Nocturne No.14 fis-moll op.48-2

舟歌 嬰へ長調 op.60

Barcarolle Fis-Dur op.60

ブラームス: 4つの小品 op.119

Brahms : 4Stücke op.119

ラフマニノフ: ピアノ・ソナタ 第2番(1931年版)

変口短調 op.36

Rakhmaninov : Sonata for Piano No.2 b-moll op.36

「進化」「深化」「新化」「真価」・・・
 進歩していくこと、より深まっていくこと、新しくなること、真の価値・・・
 各々の意味合いは異なりますが、
 人生の中においては全てが密接に重なり合っているような気がします。
 「深化」が、「進化」「新化」を生み、
 「進化」は、「深化」「新化」の融合から生まれるのではないかと思います。
 音楽家として常に追いついていく「真価」は、作品の＜真髄＞です。
 「真価」を伝える演奏家としての使命を果たすべく、
 「進化」「深化」「新化」を続けることを胸に刻みつつ、
 シリーズ—SHINKA—とともに歩んでゆきたいと思います。

今回は、淡い光の移ろいの中で静かに紡がれる
 ショパンの《前奏曲Op.45》で幕開けです。
 同年代に書かれた《2つのノクターンOp.48》では、
 哀しいまでの儂さと胸の奥に宿る密かな炎が交錯します。
 その数年後、健康悪化と精神的な疲労をかかえた
 晩年のショパンが書いたのは《舟歌 Op.60》。
 孤独な心情を遥かなる憧れとともに、
 柔らかな光に包まれた水面の揺れに漂わせるかのような円熟の極致です。
 その余韻に続くのは、
 ブラームス晩年に書かれた最後のピアノ作品《4つの小品Op.119》。
 生涯、敬愛の念を抱き続けたクララ・シューマンに、
 その第1曲を「灰色の真珠」と評されたとおり、
 内省的な陰影と親密な温もりは、
 長い年月を経て結晶となったのかもしれない。
 そして、後半は、ラフマニノフ円熟期の《ソナタ第2番(1931)》です。
 心の奥底から湧き上がる問いがうねりを伴って押し寄せる波、
 やがて訪れる静寂の中での
 遠い記憶や失われたものへの諦めのまなざし、
 再び立ち上がり長い対話の果てに得た確信と
 精神の解放が生む眩いばかりのエネルギー・・・

ショパン、ブラームス、ラフマニノフ。
 異なる時代と土地に生きた3人の円熟の世界を
 お楽しみいただけますように・・・

田部京子

田部京子 Kyoko Tabe (Piano)

17歳で日本音楽コンクール優勝。東京芸術大学に進学後、ベルリン芸術大学、大学院を首席で卒業。エピナール国際ピアノコンクール優勝、シュナーベルコンクール優勝、ミュンヘン国際音楽コンクール(ARD)第3位など受賞。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィルなど多数の国内外オーケストラと共演するほか、世界のトップアーティストから共演者に指名され厚い信頼を寄せられている。CDは35枚以上リリース、国内外で特選盤に選出されるほか、レコード・アカデミー賞を受賞するなど高い評価を受けている。リサイタルシリーズ(2003年～浜離宮朝日ホール)は、シューベルト、シューマン、ベートーヴェン、ブラームスなどのシリーズに続き、2016年～2022年の『シューベルト・プラス』シリーズも大成功を

収め、2024年スタートの『—SHINKA— 進化×深化×新化』も高評価を得ている。また、NHKドラマ「夏目漱石の妻」の挿入曲「シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番」の演奏でも話題を呼んだ。2020年にはベートーヴェンの「ピアノ協奏曲二長調op.61a(ヴァイオリン協奏曲二長調op.61のピアノ協奏曲版)」と「皇帝」をサントリーホールで一夜に2曲演奏し高い評価を得ている。2022年には、田部京子に献呈された「シューベルト：ピアノソナタ第21番ピアノ協奏曲版(吉松隆編曲)」の世界初演が多くの話題を集め、大阪でも関西初演を行った。2023年にCDデビュー30周年を迎え、リリースされた「メロディー」も特選盤に選出、好評を博している。第一線で演奏活動を続け、日本を代表する実力派ピアニストとして人気を集めている。桐朋学園大学院大学教授。

公式HP：<https://www.kyoko-tabe.com>

—Web会員募集中— お申し込み **朝日ホール・チケットセンター** 検索 ※「会員登録」ボタンからご登録ください。

田部京子浜離宮朝日ホール公演
 の最新情報がメルマガで届きます。
 す。ぜひご登録ください。



特典1
 登録料
 年会費
 無料



特典2
 会員向け
 先行販売
 ※先行販売を実施し
 ない公演もあります。



特典3
 24時間
 購入可能



特典4
 座席
 選択が
 可能



特典5
 最新
 情報のお
 届け

